

越中一宮 高瀬神社

御社殿屋根修復 銅板ご奉納のお願い



御社殿屋根修復「銅板」ご奉納のお願い

大正十二年（一九二三年）、高瀬神社は氏子崇敬者各位の並々ならぬ熱誠をもって、国幣社に昇格しました。現在、この社格は無くなりましたが、当時、国幣社となることは大変名誉なことでした。来る平成三十五年（二〇二三年）には昇格百年の節目の年を迎えます。

昇格後、国幣社に相応しい御社殿にすべく、関係者挙げて新社殿建設に取り組み、念願叶って昭和十七年より国の主導による御造営工事が始まりました。基礎工事が終了した昭和二十年八月に終戦となり、国費による工事が中止されました。往古の面影は消滅した状況でしたが、各方面より浄財や樹齢数百年の銘木が寄進され、昭和二十二年に御本殿が、翌二十三年に拝殿が完成し、現在に至っております。

昭和四十八年に檜皮葺屋根から銅板に葺き替えられて五十年が経過した今日、御本殿を始めとする御社殿の屋根は酸性雨による腐食や経年による傷みが進んでおり、早々に葺き替え工事を行わなければならない事態となっております。これまでの例にならない、再び各位の誠心籠もるご奉賛をいただき、この事業を完成させたく存じます。今後、「葺き替え用銅板」の数が揃い次第、順次葺き替え工事に取りかかる予定です。

つきましては、本事業の趣旨をご理解いただきまして、どうぞ「葺き替え用銅板」のご奉納にご協力下さいますようお願い申し上げます。

越中一宮高瀬神社 宮司 藤井 秀嗣

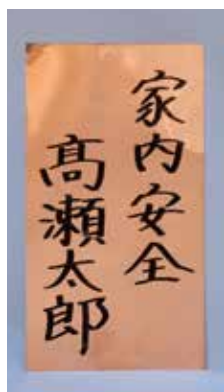
御社殿屋根修復銅板ご奉納のお願い

高瀬神社は平成三十五年（二〇二三年）の完成を目指し、劣化損傷の著しい本殿をはじめ御社殿全体、功霊殿拝殿屋根の銅板葺替工事を行います。ご参拝の記念として葺き替え用の銅板奉納にご協力下さいますようお願い申し上げます。

▼奉納金額 一枚二千元

※銅板には皆様のお名前や、
お願い事をご記入いただけます。

▼記念品「奉賛之章・心魂」



銅板記入例



奉賛之章「心魂」

《事業概要》

- 一、御社殿屋根銅板葺き替え
付属飾り金具改修工事
「本殿、幣殿、拝殿、
回廊、功霊殿拝殿」

楠の木で作った「心魂」をご奉
賛の証として授与致します。

《日程》

- 一、銅板ご奉納実施期間…平成三十年より三ヶ年
- 二、銅板屋根改修工事…平成三十五年春着工

平成三十五年秋竣功予定

※平成三十一年より工事資金の募金を実施する予定です。



五十年を経て、劣化損傷の著しい銅板葺屋根